

2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業 地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書

団体名

境港市

(鳥取県)

1. 当該地域の情報 (2020年2月現在)

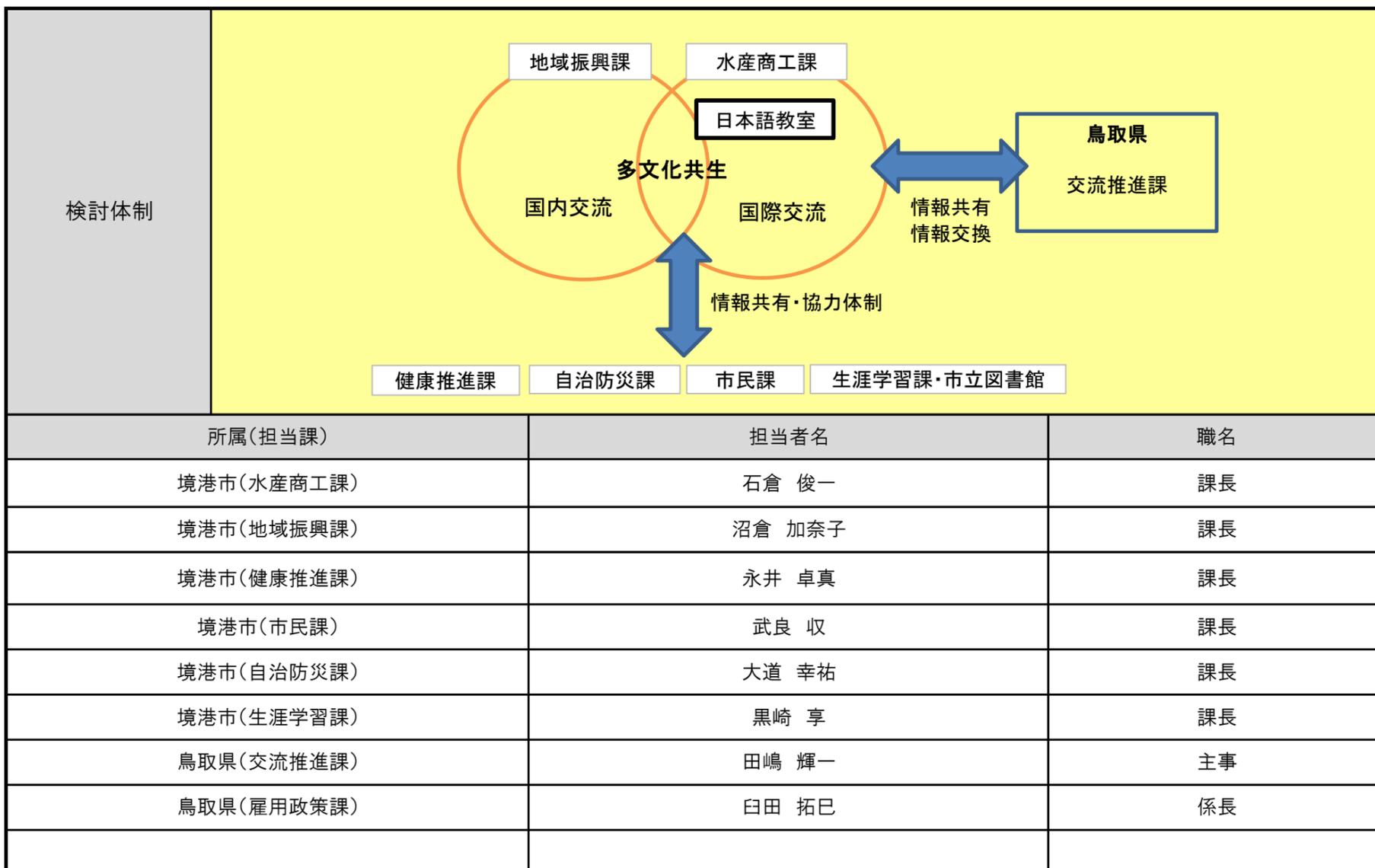
地域の課題	<p>少子高齢化の進展に伴い、国内において人材確保が困難になり、外国人材の活用を図る動きが全国的に強まっている。本市においても、基幹産業である水産業を中心に、多くの企業で外国人技能実習生の受入れを通じて外国人材を活用している実態がある。2019年4月1日の入管法改正もあり、今後、外国人実習生はさらに増えることが予想される。</p> <p>その一方で、技能実習生の派遣元が中国からベトナム・インドネシア等にシフトしているが、地域には、ベトナム語等でコミュニケーションをとることのできる人材がほとんどおらず、地域の生活者としての彼らを支援する環境が不足している。</p>
在住外国人数 外国人比率	526人 1.55%
在留外国人の 状況	<p>【主な国籍と人数】ベトナム232人 韓国78人 インドネシア55人 フィリピン47人 中国34人 朝鮮19人 ブラジル18人 カンボジア10人 ロシア10人 ミャンマー8人</p> <p>【在留資格】技能実習2号163人 技能実習1号129人 特別永住者85人 永住者76人 家族滞在13人 日本人の配偶者等12人 定住者10人 技能実習3号9人 技術・人文知識・国際業務8人 経営・管理6人</p> <p>【滞在年数・在留期間などの状況】 技能実習以外(主に永住者と特別永住者)は200人前後で横ばいで推移しているが、技能実習が急速に増加している。H24.3月末に226人であった技能実習生は、R2.2月末には301人となり、少数であるが技能実習3号や新しい資格である特定技能1号の登録も増えてきていることから、今後は1人当たりの滞在年数が伸びる可能性が高い。</p>
在住外国人の 日本語教育の現状	<p>H29年度までは、広く一般に開かれた日本語教室は、境港市内で開催されておらず、日本語を学ぶためには、市外の教室を利用する必要があった。そのため、本事業を利用し、H30年度2月より境港市主催の日本語教室を試行している。</p> <p>参考1:隣接する米子市と松江市では日本語教室が開催されている。</p> <p>参考2:外国人技能実習生受入企業の一部が、島根大学の留学生を講師として招き、日本語学習の場を設けている例があったが、境港市主催の日本語教室の開催に伴い、現在休止中。</p>

2. 事業の内容

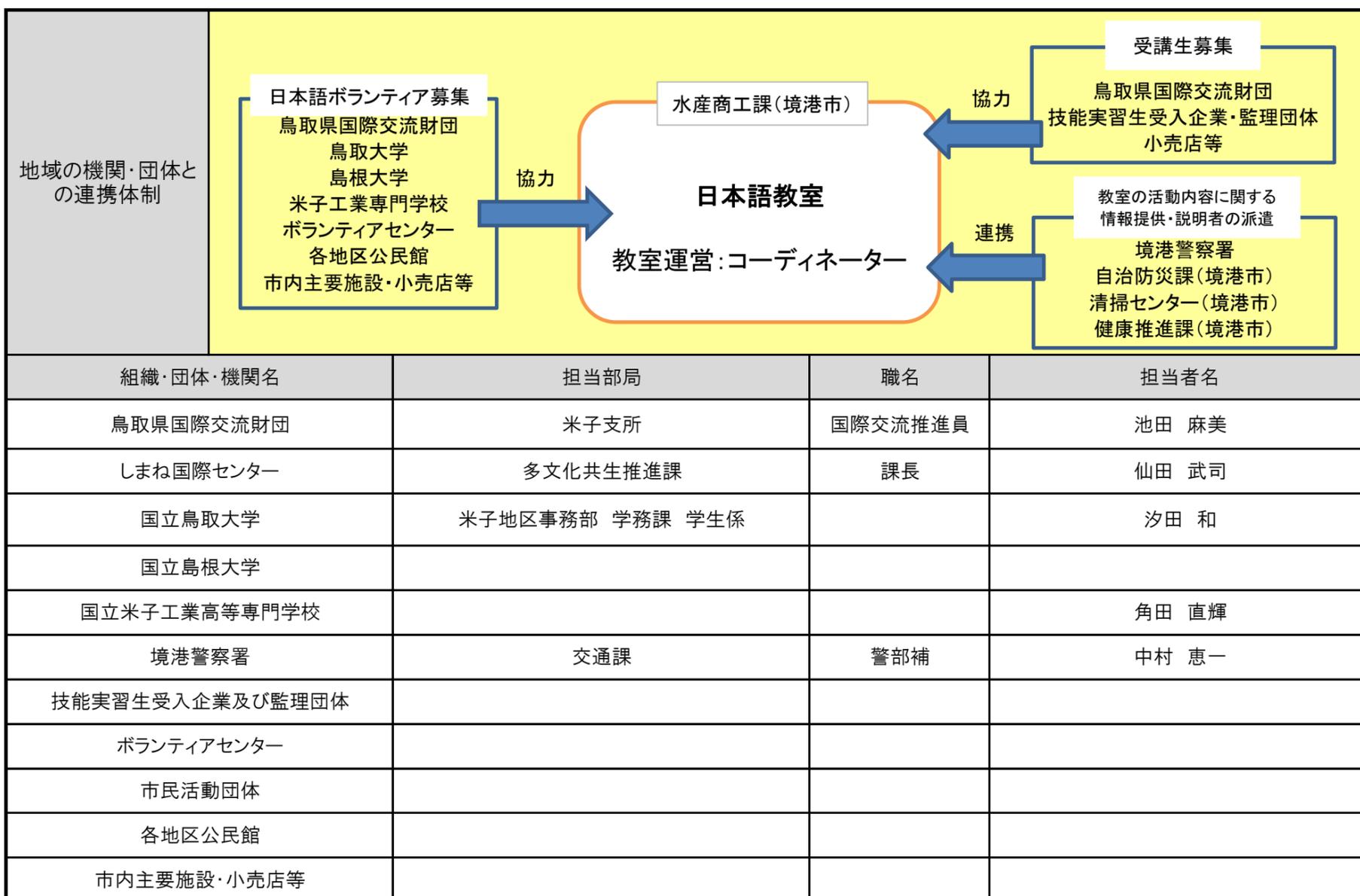
本プログラム取組年数	2年目			
事業の目的	<p>本市は外国人材の活用に向け、外国人から選ばれる地域になるべく、外国人にも住みやすい地域づくりを目指している。本市の外国人住民の多くを占める技能実習生への言葉や生活の支援は受入れ企業が実施しているが、企業だけでなく地域としても受入れ体制の向上を図る必要があり、外国人住民が地域の中で円滑かつ快適に生活を送ることができるような地域づくりを進めるにあたっては、言葉の問題を解消するための環境を構築するとともに、地域の日本人にも外国人を地域の一員として受入れるために必要な意識を持つことやスキルを身に着けることが求められる。本事業の実施により、ノウハウを持つ専門家の方々や関係各所から助言・協力のもと、外国人住民の生活環境向上への取り組みを推進する。</p>			
事業の概要	<p>全体会議・実務会議・コーディネーター会議等を通して、以下の項目について、実態を把握・分析・協議を行い、本市の実態に即した日本語教育のあり方を検討する。</p> <p>また、市民向けの多文化共生講座や交流会等を実施して地域住民の理解を深めるとともに、日本語教室等の交流の場を設けることで、外国人住民の日本語コミュニケーション能力の向上及び外国人住民が暮らしやすい環境の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人住民の日本語学習に関するニーズ ・技能実習生受入企業における受入れ体制 ・日本語教育に必要な人材及び場所 ・本市の状況に適した日本語教室の運営体制 			
事業の対象期間	2019年5月～2020年3月			
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	<p>事業への採択、アドバイザーの派遣を受け、7月にキックオフ会議を開催。当市関係各部署の出席の下、アドバイザーの方々に当市の現況を説明し、意見交換を行った。また、同月末にはアドバイザー1名とコーディネーターを含む当市職員が、近隣で実施されている日本語教室の視察を実施し、再度意見交換を行った。</p> <p>当市在住外国人の多数を占める技能実習生の受入企業の職員で、企業による日本語教室を実施している方のコーディネーター委嘱を以て、12月にコーディネーターと地域日本語教育アドバイザー2名が集まり、実務会議を開催。各アドバイザーやコーディネーターの知識や体験から、企業での日本語教室で文化コースや会話コースの導入が効果的であったこと、日本語教室への参加が地域住民にとっても外国人への戸惑いを軽減させ、交流・相互理解を促進する効果が期待できること、実践をしていく中で参加者の意見を聞いたり、参加者を増やしていくことが見込める等の意見を得ることができた。</p> <p>それらの意見を踏まえ、ボランティア実践セミナー＋交流型日本語教室という方向性で試行を行うことを決定。募集の結果、88人の受講希望者と35名の日本語ボランティアが集まり、2月末より日本語教室の試行を開始した。</p>			
担当コーディネーター	氏名	所属	職名	担当する役割
	大原 浩明	境港センター冷蔵株式会社	取締役営業本部長	教室運営
	木下 朋子			教室運営・進行
	佐々木 邦広			教室運営・進行
	石倉 俊一	境港市産業部水産商工課	課長	事業全体の統括
	本角 有希子	境港市産業部水産商工課経済交流係	係長	教室設立準備にかかる関係者との連絡調整、教室運営
	難波 琢也	境港市産業部水産商工課経済交流係	主任	資料の作成、会場の準備等
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	井上 洋	一般財団法人ダイバーシティ研究所	参与	継続・新規(2年目)
	御館 久里恵	鳥取大学教育支援・国際交流機構国際交流センター	准教授	継続・新規(2年目)
	仙田 武司	公益財団法人しまね国際センター	多文化共生推進課長	継続・新規(2年目)

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

(1) 地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



(2) 日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



4. 具体的な取組内容

(1)年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの主な活動	アドバイザーの来訪
2019年 4月			
2019年 5月	コーディネーター会議 全体会議・実務会議	事業計画の作成 事業に係る協議 日本語教室の教材準備 日本語教室参加者募集	井上、御館、仙田
2019年 6月	第2期日本語教室(2回) 日本語ボランティアミニ講座	講座・日本語教室の準備・運営	仙田
2019年 7月	第2期日本語教室(1回)	日本語教室の準備・運営	
2019年 8月	第2期日本語教室(2回)	日本語教室の準備・運営	
2019年 9月	コーディネーター会議	2期日本語教室のふりかえり 3期日本語教室の内容協議 日本語教室参加者募集	
2019年 10月	第3期日本語教室(1回) 日本語ボランティアミニ講座	講座・日本語教室の準備・運営	御館
2019年 11月	第3期日本語教室(2回)	日本語教室の準備・運営	
2019年 12月	第3期日本語教室(2回)	日本語教室の準備・運営	
2020年 1月	実務会議	ボランティア講座・多文化共生講座についての協議 今後の日本語教室の運営について意見交換 来年度に向けた提案書の作成 講座の調整・参加者募集・事前準備	御館・仙田
2020年 2月	日本語ボランティア講座(2回) 多文化共生講座(異文化体験ワークショップ)	講座の準備・運営 報告書等のとりまとめ	御館・仙田
2020年 3月		会議等の開催や中止にかかる調整 事業活動報告の作成	

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称	さかいみなと日本語クラス						
外国人参加者について	[国籍]ベトナム89名, 中国3名, カンボジア1名, オーストラリア1名 [属性]技能実習生93名, ALT1名	参加者数 (内 外国人数)	受講者94名 支援者41名 (日本語ボランティア36名、折紙指導5名)				
開催時間数	総時間15時間	内訳 1.5時間 × 10回					
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人と地域住民との交流の場とし、相互理解を図る。 ・外国人の安全な生活整備に係る事例の授業への盛り込み、関係各署の日本語クラスへの参加を促す。 ・外国人受講生の出席率向上。 ・日本語ボランティアの技術向上、定着化。 						
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2019年6月9日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	48	ファッション	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・自己紹介 ・衣替えて何? ・今日のファッション 	日本語ボランティア 21名
2	2019年6月23日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	21	文化	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・日本の文化 ・折紙、七夕短冊作り体験 	日本語ボランティア 19名
3	2019年7月14日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	16	交通安全	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・怖かった体験 ・交通安全指導(境港警察署) ・交通標識 	日本語ボランティア 19名
4	2019年8月4日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	17	仕事	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・仕事について聞いてみる ・仕事について話してみる 	日本語ボランティア 12名
5	2019年8月18日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	15	ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・ひらがなから単語作り ・境港市ご当地すごろく ・皆勤賞表彰、主催者あいさつ 	日本語ボランティア 12名
6	2019年10月20日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	50	出身地を紹介	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者あいさつ ・自己紹介 ・自己紹介カード作成 ・出身地を紹介 ・消費生活相談に関する注意喚起(消費生活相談員) 	日本語ボランティア 12名
7	2019年11月10日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	31	病院へ行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・市内にある病院 ・こまったこと ・どんな病院がありますか? ・問診票を書いてみよう 	日本語ボランティア 9名
8	2019年11月17日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	27	災害にそなえよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・災害を知る ・災害が起きたら ・近くの避難所 ・Jアラートを聞いてみる 	日本語ボランティア 8名
9	2019年12月8日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	12	ごみのない町にしよう	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・ごみ分別カレンダー ・ごみの分別をしてみよう ・資源ごみのリサイクルについて話してみよう 	日本語ボランティア 10名
10	2019年12月22日(日) 10:00~11:30	1.5	境公民館	11	日本のお正月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・年末年始 ・年賀状を書いてみよう ・正月遊び体験 ・皆勤賞表彰、主催者あいさつ 	日本語ボランティア 10名

【主な活動】



2. 折紙体験



6. 消費生活相談に関する注意喚起



10. 年賀状を書いてみよう

(3)その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容
日本語ボランティアミニ講座	2019年6月9日 2019年10月20日	経験の少ないボランティアの不安を少しでも軽減し、楽しく参加してもらえるよう、各期の日本語教室開始前に簡単なボランティア講座を実施した。 【内容】(1回50分) 第2期「さかいみなと日本語クラスボランティア講座」(受講者:22名) 講師:仙田アドバイザー 第3期「『やさしい日本語』でコミュニケーション」(受講者:11名) 講師:御館アドバイザー
多文化共生講座 (異文化体験ワークショップ)	2020年2月12日 19:00~20:30	市民への多文化共生に対する理解を深めることを目的に開催。JICA職員を講師に招き、ゲームやグループでの意見交換を通して、異文化に接する時の気持ちを多数派・少数派両方の観点から疑似的に体験した。また、日本語教室やボランティア講座と異なる平日夜に開催することで、今まで関わっていなかった市民の掘り起こしを図った。 【内容】(1.5時間) 「異文化体験ワークショップ」(受講者:21名) 講師:鳥取県JICAデスク 森木由加里
日本語ボランティア講座	2020年2月(全2回)	継続的な日本語教室運営に欠かせない日本語ボランティアの経験者が少ないという現状から、ボランティアの技術向上及び新たな人材確保を目的に、全3回で企画。そのうち第3回は新型コロナウイルス感染拡大防止に係る政府見解を受けて急遽中止としたが、実施した2回の講座に、第3期までのボランティア経験者9名を含む25名が参加した。 【内容】(1回1.5時間) 第1回「『やさしい日本語』で始める国際交流」(受講者:21名) 講師:仙田アドバイザー 第2回「境港に住む外国人と話してみよう」(受講者:16名、協力外国人:6名) 講師:御館アドバイザー、仙田アドバイザー 第3回※開催中止※ 「多様性を活かす地域づくり、いま考えておくべきこと」講師:井上アドバイザー 「『やさしい日本語』コミュニケーションのコツ」講師:御館アドバイザー

【主な活動】



日本語ボランティアミニ講座



異文化体験ワークショップ



第2回日本語ボランティア講座
「境港に住む外国人と話してみよう」

5. 今年度事業全体について

進捗状況	日本語教室の試行については、コーディネーターと協議・協力の下、12月までに2期10回を実施。1月以降は教室は実施せず、日本語ボランティアの人材育成や今後について協議をすることに集中した。予定していた先進地視察については、コーディネーター及び視察先の日程調整に難航し、未実施。また、3月に予定していた第3回日本語ボランティア講座と第2回全体会議については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を見合わせた。
成果	日本語教室では、1期2期の経験や受講生の意見を基に、グループ分けの方法を変更したり、受講生が発表する場を設ける等の工夫をし、出席率の向上やスムーズな運営のための取り組みを行った。また、日本語ボランティア講座や多文化共生講座の開催を通し、より多くの市民が在住外国人に対する理解を深めるとともに、新たな人材の掘り起しを行うことができた。
地域の関係者との連携による効果	日本語教育経験者と技能実習生受入企業職員であるコーディネーターの意見を取り入れることで、職場や生活の実態に即した適切な教材の作成や教室の運営・進行を心掛けることができた。 また、技能実習生受入企業の協力があることで、連絡手段の少ない実習生たちへの周知やスムーズな受講申し込みが可能となるとともに、地域住民と外国人、企業担当者、地域の関係者が日本語教室を通して顔を合わせることで、お互いの安心へと繋がっているほか、関係各署との情報共有等の結果、市報や県広報誌、鳥取県国際交流財団広報誌、とっとり人権情報誌等へ取り組みを紹介する記事が掲載されるなど活動の周知を図ることができた。
コーディネーターの主な活動	①事業に関する協議(15H) ②日本語教室の準備・運営(80H) ③日本語ボランティア講座及び多文化共生講座開催のための調整(10H) ④講座の準備・運営(20H) ⑤会議や先進地視察に向けた調整(15H) ⑥会議資料や事業計画、報告書、提案書等の書類作成(100H)
アドバイザーの主な助言	・他団体の活動及び当市の実態に即した視察先の紹介 ・日本語ボランティア講座の開催にあたり内容及び実施回数に関して提案 ・多文化共生講座の講師の紹介 ・日本語教室に係る運営スタッフ・サポーター等の役割分担について提案(教室の進行可能な人材をボランティアから育成するのか、分けて考えるのか等) ・ボランティア講座の事後評価を通じた事業全体へのフィードバック(受講者の構成や能力を勘案した日本語教室への関り方や役割について等)
今後の課題	・日本語教室で使用する教材やテーマの整備 ・日本語教室の定期的な開催と幅広い周知 ・日本語ボランティアの育成と定着 ・日本語教室進行役の人材確保と育成 ・運営主体及び方針の決定と運営体制の確立
今後の予定	・日本語教室の実施によって、コーディネーターやボランティアの更なる経験を積む。 ・先進地視察と意見交換によって、コーディネーターの知識を深め、事業運営に活かす。 ・人材確保と技術向上を目的とした日本語ボランティア講座を実施する。

本件担当 : 境港市役所水産商工課経済交流係